

山折り

6228790

京都府船井郡京丹波町蒲生ハツ谷 62番地 6

京丹波町企画財政課 行

【令和3年度町政懇談会『タウンミーティング』アンケート在中】

料金受取人払郵便
国 部 局
承 認
100
差出有効期間
令和3年8月
30日まで
(切手不要)



山折り

切り取り線 ✂

✂ 切り取り線

このページは、切り取り線で切りはなし、返信用封筒としてお使いください。
投函の際は切手は不要です。

【発行】京丹波町 電話0771-82-3801

【企画・編集】企画財政課

【電子メール】kikaku30@town.kyotamba.lg.jp 【ホームページ】http://www.town.kyotamba.kyoto.jp

『～地域の皆さまと太田町長で健康の里づくりに向けたミーティング～』

令和3年度 町政懇談会 『タウンミーティング』

令和3年度の予算について

令和3年度の主要事業

新庁舎と地域の動き

令和3年度町政懇談会
『タウンミーティング』アンケート

ケーブルテレビ放送期間

7月31日(土)～8月13日(金)

[第1部] 健康の里づくりへ向けた予算と主要事業

[時 間] 9時～・11時～・13時～

16時～・18時30分～・21時～

アンケートページを切りはなしで入れた後、封してください

山折り

山折り

ごあいさつ

町民の皆さまへ

京丹波町長
太田 昇



皆さまには、町政の運営並びに推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。とりわけ新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組につきましては、感染予防対策の大きな切り札として期待されるワクチン接種を高齢者の方々から順に進めており、10月中旬までには16歳以上の方々への接種が完了できるよう努めているところであります。今後におきましても引き続き、感染防止対策等へのご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さまと一体となって町政を推進することを目的に開催して参りました町政懇談会『タウンミーティング』につきましては、感染症拡大防止のため、昨年と同様に京丹波町ケーブルテレビで特別番組を放映する方法で実施させていただきます。このミーティングでは町政の情報をお伝えするとともに、町民の皆さまからはアンケートや、ホームページにより、幅広くご意見等を賜りたいと考えておりますので、よろしくご意見申し上げます。

本年も町民の皆さまの安全安心、豊かな暮らしの実現に向けて、多くの事業等を推進してまいります。町民の皆さまの「健康」を守る施策の推進や、コロナ禍で変化する社会経済情勢への対応について強化して参りますとともに、持続可能な地域づくりについて、更なる研究を進めてまいります。今後も、「カーシェアリング事業」など、共に支え合い地域の活性化を目指す取組への支援に力を入れていきたいと考えております。

次に、町の基幹産業である農林業については、農業経営の改善に向けて「スマート農業」を推進いたします。農地管理に必要な除草作業の負担軽減に資するラジコン草刈り機の導入や運転操作を補助するGPS付田植え機の導入を支援するほか、有害鳥獣の個体調査や捕獲の効率化に資するドローンの導入についても研究を進めております。これにより、農家の皆さまの作付け意欲の向上につなげていきたいと考えております。

また、本年は大型事業として複数年で取り組んできた新庁舎と認定こども園新園舎が完成いたします。町民の皆さまに愛され親しまれる施設となるよう、しっかりと運用してまいりたいと考えております。

最後に、今年度も健康の里づくりに向けた5本の柱に沿って、着実に町政を推進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

京丹波町の予算概要を説明します。

令和3年度の予算の概要

一般会計当初予算の総額は125億3,100万円で、新庁舎整備事業や認定こども園整備事業などにより、前年度と比較し2.4%の増額で、最大の規模となっています。

特別会計と地方公営企業会計の当初予算総額は86億1,933万2千円で、前年度と比較し1.0%の減額となりました。

歳入

国や府の台所事情に左右される状況。

歳入には、町が自らの力で収入できるお金(自主財源)と国や府から割り当てられたりするお金(依存財源)があります。右のグラフのとおり京丹波町の自主財源は25%で、あとの75%は国や府からのお金に依存しており、国や府の台所事情に左右されやすい状況にあります。

自主財源 31億5,678万円
(前年度29億3,503万円)

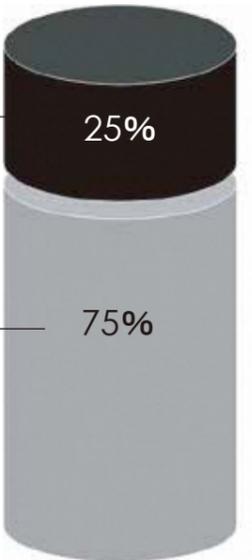
自力で収入できるお金

町税	15億8,896万円
使用料・手数料	3億1,120万円
繰入金	8億5,175万円
その他	4億487万円

依存財源 93億7,422万円
(前年度93億497万円)

国・府から割り当てられたお金や借金

地方交付税	48億円
国庫・府支出金	13億3,652万円
町債	26億7,460万円
その他	5億6,310万円



一般会計総額

125億3,100万円

歳出

歳出の約3分の1は、任意に削減しにくい義務的経費。

人件費や扶助費(医療費助成など)、公債費(借金の返済金)は義務的経費といい、任意に削減しにくい経費です。扶助費は例年並みであり、公債費も高水準で推移することから、財政にゆとりがない状況です。経費削減に向け、事務事業のさらなる見直しが求められています。

義務的経費 43億3,152万円
(前年度41億4,302万円)

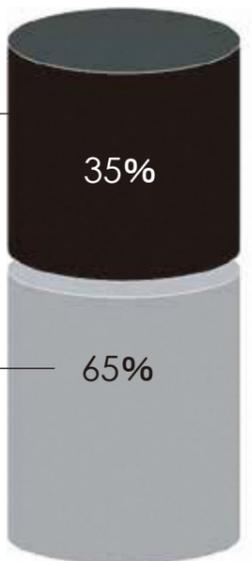
人件費など支出が義務付けられている経費

人件費(職員給与など)	20億3,587万円
扶助費(医療費助成など)	6億6,783万円
公債費(借金の返済金)	16億2,782万円

その他経費 81億9,948万円
(前年度80億9,698万円)

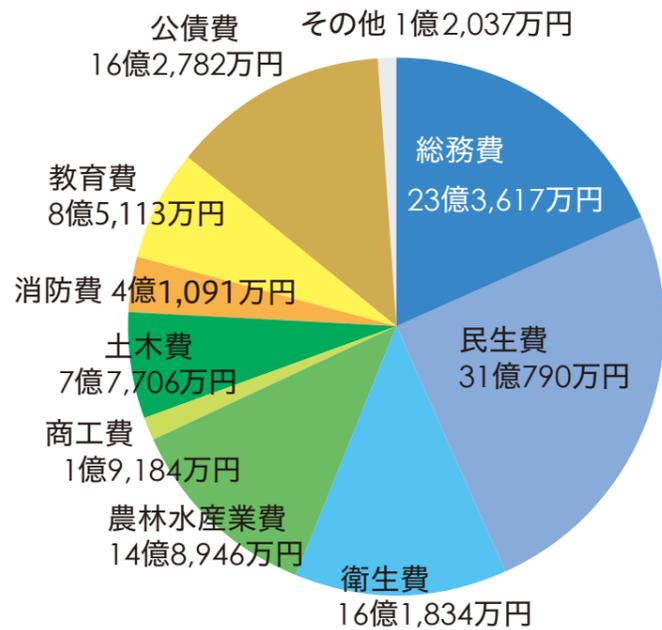
投資的な経費や各種補助金、事務経費など

物件費(需用費など)	15億3,753万円
補助費等(各種補助金など)	23億5,149万円
普通建設事業費	27億7,829万円
災害復旧事業費	842万円
繰出金(特別会計への繰出)	12億629万円
その他(維持補修費など)	3億1,747万円



※四捨五入で表示しているため、合計しても一致しない場合があります。

一般会計 How to use budget おもな使いみち



(参考:前年度)

予算名	予算額
総務費	27億7,372万円
民生費	27億5,688万円
衛生費	15億4,415万円
農林水産業費	14億2,422万円
商工費	1億8,176万円
土木費	8億1,961万円
消防費	3億8,393万円
教育費	8億4,805万円
公債費	13億8,602万円
その他	1億2,166万円

特別会計等総額 **86億1,933万2千円**

特別会計・地方公営企業会計の内訳は次のとおりです。

会計名	予算額
国民健康保険事業	17億9,530万円
後期高齢者医療	2億6,120万円
介護保険事業(事業勘定)	21億6,807万円
介護保険事業(サービス勘定)	360万円
介護保険事業(老人保健施設サービス勘定)	1億4,540万円
下水道事業	9億9,600万円
町営バス運行事業	1億4,365万円

会計名	予算額
土地取得	1万円
育英資金給付事業	560万円
須知財産区	121万円
高原財産区	26万円
桧山財産区	1,430万円
梅田財産区	734万円
三ノ宮財産区	258万円
質美財産区	300万円
京丹波町病院【公営企業会計】(町病院・各診療所)	10億7,907万円
水道事業【公営企業会計】	19億9,275万円

※四捨五入で表示しているため、合計しても一致しない場合があります。

令和3年度の主要事業

町行政の公正化

まちづくりの主役は町民の皆さまです。本町が一体となってまちづくりを進めるため、説明責任を果たすとともに、施策の選択と集中を徹底し、5つの柱の「施策の推進」と「財政健全化の推進」の両立を図ります。

町行政の公正化に必要な取り組み

町民が主役のまちづくり

町民の皆さまと一体となってまちづくりを進めるためには、町民の皆さまの声を聴くことが一番大切です。このために町政懇談会「タウンミーティング」を開催しています。令和2年度からは、コロナ禍にあることから京丹波町ケーブルテレビの自主放送番組等を活用し、開催しています。令和3年度も現下の状況を踏まえ、自主放送番組を活用し、町政について説明させていただき、町民の皆さまからアンケート等によりさまざまなご意見をいただき、町政に反映していきます。



施策の実現に向けての体制づくり

喫緊の課題である子ども子育て支援の充実と人口減少対策を重点的に推進するため、「こども未来課」や「にぎわい創生課」の設置をはじめとした、町組織体制の見直しを平成31年4月に行いました。

また、令和3年度は、より一層町民の皆さまの健康維持と福祉の充実を推進するため「福祉支援課」と「健康推進課」を設置し、新庁舎移転を見据えた体制の整備とあわせて組織の機能強化を図ります。

このことにより、業務の効率化や合理化とともに、ワンストップサービスにつなげるなど、住民サービスの向上をめざします。



また、公債費負担の抑制のため、2億円の繰上償還を行うとともに自主財源の確保に向けて、債権管理条例を制定しました。

そのほか、令和3年度では、下記の事業を実施します。

公金収納データサービス導入経費…288万円

領収済通知書をデータ化し、収納処理を行うことにより、出入金事務の合理化、効率化を図ります。

環境整備

多発する自然災害等から身を守り、安全で安心して暮らせるまちへ、防災拠点の整備や地域防災力の要である消防団の機能強化等を行い、防災力の強化を図ります。

また、地域で取り組む活動を支援することにより、持続可能な地域づくりをめざしていきます。

環境整備に必要な取り組み

安心・安全なまちへ

役場庁舎は災害が発生したときに災害対策本部を設置するなど、町民の安全で安心な暮らしを守る要となります。また、町民の皆さまが集える空間として、交流ラウンジも備えました。現在、令和3年8月中の完成に向けて工事を進めています。

また、新庁舎には先人たちが植えてきた本町の豊富な森林資源を活用しています。この取り組みを通じて、本町の森林の循環を図るとともに林業に携わる人材の育成にもつなげていきます。



【関連事業】

- 新庁舎整備……………9億1,869万円 新庁舎建設の経費です。
- 京丹波町どこでも図書館構想事業 301万円 公民館図書室全蔵書のデータ化とネットワーク化により、パソコンやスマホを通じて、蔵書検索と貸出予約ができる仕組みづくりを進めるとともに、新庁舎交流ラウンジを「どこでも図書館」のサテライトスペースとして活用します。
- 瑞穂支所の施設移転改修…………… 1,479万円 瑞穂支所庁舎は、瑞穂地区の住民の皆さまの生活に密着した窓口として重要な役割があることから、令和3年度に現瑞穂保健福祉センターを改修し、令和4年度当初に移転することとし、工事等を進めます。

情報通信環境の充実

本町のテレビの難視聴対策やインターネット接続、防災情報の伝達をはじめとした情報通信環境の充実のため、町内全域でケーブルテレビのサービスを提供してきました。しかし、今後も安定したサービスを提供するためには、情報通信環境の急速な変化などへ対応が必要であり、ケーブルテレビ事業のあり方に関する審議会からの答申をもとに、民営化することが決定しました。令和3年度末までに、民間事業者のサービスに移行し、将来にわたって継続的な情報通信環境の確保を図ります。

【関連事業】

- ケーブルテレビ民営化推進事業…1億1,495万円 民営化に係る初期投資等の一部を支援します。



また、太陽光発電施設の設置、管理等が適正に行われるよう、京丹波町における太陽光発電施設の適正な設置及び管理に関する条例を制定しました。そのほか、令和3年度では、下記の事業を実施します。

- 自治振興補助金事業…………… 1,081万円 各集落が実施する集会所等の整備や関連備品購入等に対し、補助金を交付します。
- 移住・定住対策 ……………… 2,368万円 地域交流拠点「お試し住宅」に活用できる空き家物件の掘り起こし及び調査研究を実施します。
- 消防防災体制の強化…4億1,091万円 災害対策備品の整備や緊急備蓄物資の購入のほか、行政区単位での自主防災組織育成を促進することで、引き続き防災体制の強化を図ります。
- 環境保全対策事業 ……………… 847万円 本町の役割として進めるべき地球温暖化対策について実行計画を策定します。

暮らしの安心・安定

一人ひとりが健康で安心して暮らせるまちへ、地域医療体制の確立を推進するとともに、各種健診の充実やみんなで支える地域づくりをめざしていきます。

暮らしの安心・安定に必要な取り組み

全ての人々が健康で安心して暮らせるまちへ

一人ひとりが生涯現役で、心豊かに安心して暮らせるまちの実現に向けて、乳幼児から高齢者までそれぞれの世代に必要な健康づくりを推進しています。乳幼児検診をはじめ、成人の各種健康診査や各種がん検診をはじめ、健診結果に基づく健康指導や健康相談などを実施し、疾病の予防と早期発見につなげています。



【関連事業】

- 高齢者・障害者等の安心安全対策 16億9,337万円 高齢者や障害者をはじめとして、全ての人々が安心して快適に生活できるまちづくりを推進していきます。
- 健康増進の推進…………… 8,788万円 乳幼児から高齢者までそれぞれの世代に応じた健康づくりを推進していきます。

みんなで支え合う地域づくり

全ての町民が健康で安心して暮らせるまちをめざし、地域全体での見守りや声かけの取り組みを進め、みんなで支える地域福祉づくりを推進しています。

竹野活性化委員会では、地域の新たな交通手段として住民が主体となって取り組むカーシェアリング事業を開始されました。詳しくは、14ページの特集記事をご覧ください。



【関連事業】

- カーシェアリング設立経費 ……61万円 カーシェアリング実施団体に対して支援します。
- 運転免許証自主返納奨励金 ……30万円 運転免許証を自主返納した高齢者等に対し、1万円分の路線バス利用券を交付します。
- 高齢者運転免許講習への支援…177万円 園部安全自動車学校に対し、高齢者運転免許講習継続のための経費を支援します。
- 高齢者の事故防止対策……………10万円 町民の70歳以上の方を対象に、所有されている自動車への急発進抑制装置の取り付けに係る費用の一部を補助します。

そのほか、令和3年度では、下記の事業を実施します。

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業… 4,920万円 新型コロナウイルス感染予防と重症化予防のため予防接種を実施します。
- 地域医療体制の確立推進… 3億3,014万円 国保健康保険南丹病院組合や国保京丹波町病院、診療所の運営にかかる負担金・補助金
- 介護職員確保対策……………465万円 町内福祉施設等の介護従事者への研修等受講経費の助成のほか、介護福祉士養成施設等の授業料等を貸与します。

子育て支援

次代を担う子どもを育てるまちへ、切れ目のない支援を行っています。

子育て支援に必要な取り組み

同じ環境のもとで教育・保育・子育てを提供

仕事と子育てが安心して行える環境整備や、地域社会を含めた「かかわり合い・かまい合い・つながり合い」ながら子どもも大人も地域にも活力が生まれることをめざして、地域の実情や特性を踏まえた子育て支援施策を総合的に推進しています。

また、すべての就学前の子どもに対して、より良い環境のもとで幼児教育・保育を提供できるように令和4年4月の町立認定こども園の開設に向け、たんばこども園新園舎を建設しています。

安心して子どもを生み、育てることができる環境づくりを推進しています。



【関連事業】

- 幼児教育・保育の充実… 4億2,924万円 幼稚園、保育所の管理運営の経費です。
- 認定こども園整備事業… 8億1,612万円 たんばこども園園舎建設の経費です。
- 発達支援事業… 366万円 町独自に専門職を配置し、各種発達相談事業、療育事業等を実施します。
- すこやか子育て祝金事業 … 570万円 第1子:5万円、第2子:10万円、第3子以降:20万円を支給します。
- 子育て支援医療費助成事業…2,400万円 出生から中学校卒業までの幼児・児童及び高校生などの入院・入院外にかかる医療費を助成します。
- 子育て応援助成事業 … 500万円 子育て世帯(多子世帯、三世同居・近居世帯等)に対し、経済的負担の軽減、世代間支援の促進を図るため、必要不可欠な住宅リフォーム費用を支援します。

教育の推進

就学や進学を見据えた保幼小中と地元の京都府立須知高等学校との切れ目のない連携に取り組んでいます。

小中学校では、国が進めるGIGAスクール構想に基づき、児童生徒一人に対して1台のタブレット端末を配備し、教育の情報化を推進していきます。

また、京都府立須知高等学校では、まちの未来を担う人材育成と、ふるさと京丹波への郷土愛を育むことを目的とした地域探究研究や学習指導への学びを支援するとともに、京都トレーニングセンターなどを活用した部活動強化など地域と一体となった教育振興の充実を図ります。



【関連事業】

- 学校教育の充実… 4億7,541万円 小中学校の管理運営費や学校給食の充実、GIGAスクール構想に基づく教育の情報化など特色ある教育活動を推進していきます。
- 須知高校振興対策交付金… 130万円 須知高校が実施する教育振興の充実を図ります。
- 町営バス利用促進助成金 … 95万円 須知高校通学生徒に対する町営バスの定期代の半額を助成します。
- 中学校・須知高校連携研究事業 … 6万円 町内3中学校と須知高校が連携した学習の場を設けることで、中学校・高校の交流を深め、教育の充実を図ります。

産業振興

にぎわいのあるまちへ、本町の基幹産業である農林業のほか、商工業、観光の振興を推進しています。

産業振興に必要な取り組み

持続可能な農林業の経営に向けて

高齢化等により、農業者の減少が進行しており、農地の管理における負担の増加等が問題となっています。そこで、農地の集積を進めるとともに、農産物生産の作業性、生産効率の向上に資するラジコン草刈機やドローンなどのAIやICT技術を導入し、持続可能な農業経営の確立を図っています。



【関連事業】

- 農業振興の推進…3億8,236万円 農地集積などによる大規模経営化の促進や担い手育成、スマート農業を推進します。
- 有害鳥獣対策事業… 1億59万円 農作物の被害防止のための支援策を実施します。
- 農業基盤の整備… 5,035万円 集落機能の維持や農業生産力の向上を図ります。
- 林業振興の推進 2億2,906万円 林業の保全や育成と林業振興を図ります。

関係人口の増加

町外から町の活性化を促し、移住にもつながる関係人口の増加を図る取り組みとして、ロケ誘致事業の推進やふるさと納税の返礼品の充実などを実施していきます。ふるさと納税は、前年度を大きく上回り1億円を超えるご寄附をいただきました。ふるさと納税は町のPRや地域の活性化の重要な柱として、引き続き取り組み、関係人口の増加や移住定住につなげていきます。



【関連事業】

- ふるさと応援寄附金事業…1億5,516万円 ふるさと納税の返礼品を充実、事務運営の拡大にて寄附の拡大を図ります。
- 商工・観光振興の推進 … 1億9,184万円 昨年11月に完成したロケーション施設を活用した映画等ロケ誘致事業を推進し、町の魅力を広くPRします。また、商工振興事業としては、地場産品等の販路開拓支援体制を強化し、農や食分野の産業活性化を図るとともに町内既存企業や事業者の支援を行います。

なお、移住定住の促進については、引き続き起業支援や就農支援等の就業支援や、空き家対策等と連携しながら進めることとし、令和3年度からはお試し住宅の整備やイベント等でのPRにより強化を図ります。

そのほか、令和3年度では、下記の事業を実施します。

- 住宅改修補助金交付事業 … 800万円 住宅改修の推進と、町内商工業者の活性化に資するため、住宅改修工事費用に対して補助金を交付します。
- 道路橋りょう整備の推進 … 4億1,839万円 25路線を中心に狭あい箇所などの拡幅、改修工事を実施します。
- スポーツ観光・振興の推進 … 2,945万円 さまざまなスポーツ活動を通じて、町民の健康づくりと交流機会の拡充を図ります。

特集 みんなの想いが集う新庁舎

新庁舎 いよいよ完成

～町民の共有財産として、愛され、集い、
そして安全・安心を守る要となるために～

現在、令和3年8月の完成をめざして新庁舎の建設を進めております。屋根や壁などの外装工事は完了し、内装工事に取りかかっています。

なお、本事業については、面積の縮小など、当初計画の見直しを行い、経費の節減に努めました。特集として、新庁舎の持つ役割や魅力などをお伝えします。

役割・魅力その①

本町の森林資源を活用

新庁舎では、梁や柱などのほか、外装や内装材としても本町のスギやヒノキを使用しています。使用する木材は、約800立方メートルで、民家60軒分に相当する量となっています。

多くの木を使い、木のぬくもりを感じ、親しみやすい新庁舎をめざしています。

本町は、面積の約80%が森林で豊富な森林資源を有しており、古くから農林業が基幹産業で、山を大切に守ってきました。その山の木々が成長し、伐採期を迎えていることから本町にある資源を活用しています。

森林の循環

「伐る、使う、植える、育てる」という循環で森林は守られます。新庁舎の建設等で、町産材を継続的に活用することで、森林環境を循環させる仕組みを確立していきます。

また、新庁舎の建設を契機として、町内で森林の伐採から加工まで対応できるノウハウを蓄積し、他の事業での木材利用につなげるとともに、町内の林業に携わる人材の育成にもつなげています。



木のぬくもり

木材をふんだんに使用しており、来庁された町民の方が木の香りやぬくもりを感じ、身近で親しみやすい庁舎をめざします。



役割・魅力その②

まちを守る防災拠点

役場庁舎は、災害が発生したときに災害防災対策本部を設置し、皆さまの安全で安心な暮らしを守る要となります。全国で大規模化、多様化する自然災害などに対応するため、真に強い防災拠点の整備として進めています。

災害に備えた庁舎

新庁舎の建設地は、水害などの危険性が低い場所を選定しています。また、大規模災害時に消防団や自衛隊などとの連携を想定し、防災広場や1階には防災会議室を設けています。駐車スペースに面して配置されている防災広場は、災害時に支援活動や物資の搬送などに活用が可能となっています。



災害に強い庁舎

新庁舎は、地震の縦揺れに強い木造と横揺れに強い鉄筋コンクリートを掛け合わせた平面混構造とし、また、防災拠点であることから通常の建物より高い耐震性を確保しています。

火災においても延焼を防止するため、スプリンクラー設備を設けるなど、火災にも強い庁舎としています。また、今回の建築で日本で初めて採用している「平角組立柱」は、2本の製材にビスを斜めに打ち込んで一本の柱とするもので、大きな断面を確保することで45分間燃え続けても倒壊しない性能を有しています。

このように、先進的な取り組みなどを取り入れまちを守る防災拠点としての役割を果たすため、さまざまな創意工夫を凝らし災害に備えています。

特集 みんなの想いが集う新庁舎

役割・魅力その③

交流ラウンジ

新庁舎には、図書スペースやカフェを備えた交流ラウンジを設けます。

交流ラウンジは、学生などが自習できるカウンタースペースや飲食ができるカフェコーナーや、木のぬくもりを肌で感じてもらえるスペースのほか、雑誌や蔵書の閲覧や貸し借りができる図書機能も有しており、町民の方が気軽に利用してもらえるよう工夫を凝らした交流スペースとなっています。



完成のイメージパース

みんなのアイデアが詰まった空間

さまざまな関係団体や町民などが集まり、設計段階から外観のデザインや内部空間のイメージなどについて、意見を出し合う、新庁舎設計のワークショップやそこから発展した、交流ラウンジを考える会で出たアイデアが詰まっています。

今後も引き続き、より良い交流ラウンジとなるよう検討されます。



7月5日現在の交流ラウンジ

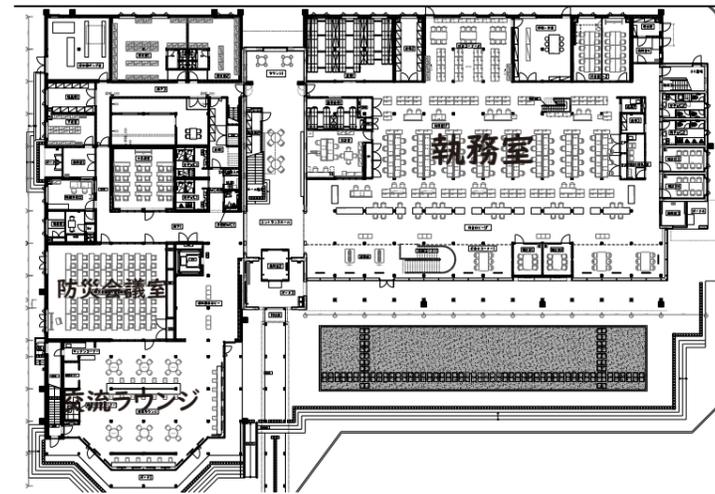
役割・魅力その④

みんなの想いが集った共有の財産

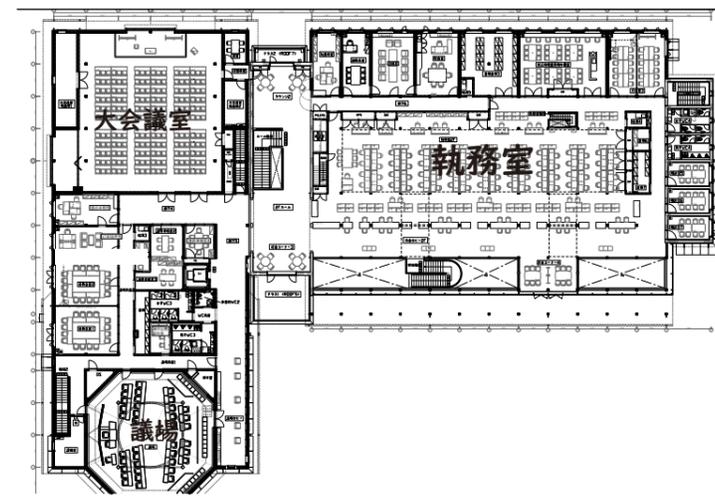
新庁舎の建設には、ワークショップに参加した町民や木材を調達した町内業者、それを加工した職人などの「人」と本町の豊富な森林からなる「資源」。この「人」「資源」すべてをつなぎ木のぬくもりのある京丹波町ならではの新庁舎の建設に向けて、みんなでつくりあげるオール京丹波で整備を進めています。

町民の共有財産として町民に愛され、町民が集う場として、さらにはまちのシンボルとして全国に発信していきます。

1階



2階



ロビーの完成イメージパース



7月5日現在のロビー

執務室の完成イメージパース



7月5日現在の執務室



議場の完成イメージパース



大会議室の完成イメージパース

特集 地域の動き

未来につなぐ 新たな時代

～ICT・AIを活用した取り組み～

持続可能な農林業の経営に向けて

京丹波町の基幹産業は農林業。丹波米をはじめ丹波くり、黒大豆、大納言小豆などブランド農産物を数多く有しています。一方で、高齢化等により、農業者の減少が進行しており、農地の管理における負担の増加等が問題となっています。また、農作物が有害鳥獣の被害に遭い、生産意欲が低下するなどの問題も発生しています。

このような課題に対応するため京丹波町では、令和2年度をICT、AIを活用する「スマート農業元年」と位置づけ、新たな農業の普及拡大を図り、農作業等の省力化に取り組んでいます。

また、林業についても、効率化による生産性の向上に向けて、高性能林業機械の導入を進めています。

GPS付田植え機

GPSを搭載した田植え機で、運転に慣れていなくても真っすぐに苗を植えることができます。

株式会社みとけでは、この田植え機を活用して作業の効率化を図られています。

同法人の代表谷口勝己さんは「直線できれいに植わり、スピードも速く、作業の効率がよい。また、若い人にも挑戦してもらえると有効性を話しました。」



ラジコン草刈機

リモコンで離れた場所から機体を操作できることから斜面に立つことなく、安定した場所での操作が可能です。本町では、令和2年度にラジコン草刈機を導入し、和知ふるさと振興センターにおいて実証を行っています。

同センター農業作業受託部部長の田井誠さんは「作業が人力よりはるかに早く楽です。高齢者では急な斜面での作業は危険が伴うがこの草刈機ではこれを回避できる。私たちの活動がスマート農業の普及の一助になれば」と期待されています。



ギガ

また、教育分野でもGIGAスクール構想に基づき、ICTを取り入れた新たな教育が始まっています。

小中学校で1人1台の端末

町内の小中学校では、児童、生徒向けに1人1台のタブレットが配備されました。

タブレットは、教科書に載っているQRコードを読み取り、さまざまな情報を取得したり、生徒総会で活動目標や計画などの議案書をタブレットを介して提案できるなどさまざまな場面で活用が可能です。これからは、日常的に活用できる環境を整え「文房具」として自由な発想で活用できるよう進められていきます。



タブレット端末を活用して授業を受ける児童 (竹野小学校)

みんなで支える地域づくり

～竹野活性化委員会 カーシェアリング～

竹野活性化委員会 カーシェアリング本格実施

このほど竹野活性化委員会が地域住民の移動手段の確保に向けてカーシェアリング事業を立ち上げ、運用を開始しました。

このカーシェアリング事業は、車を共同で使いながら地域を支え合うサークル活動で、ドライバーはボランティアで構成されており、運営に必要な経費は利用者が分担する仕組みとなっています。

6月8日に食彩の工房で行われた出発式では、検討段階から寄り添ってきた一般社団法人日本カーシェアリング協会や利用者など20人が参加し、カーシェアリングの運用開始を祝いました。



この背景には、地域の高齢化などに伴い、バスの利用が困難となった人や免許証を返納した人などが年々増えたことや、町社会福祉協議会などが実施されている支援があるものの、買い物は月1回、通院については月4回と制限があることなどから、もっと自由の利く移動手段を望む声がありました。

このことから、持続可能な地域づくりをめざすため、地域で支え合いながら外出の支援を行うカーシェアリングに取り組むこととなったものです。

みんなの声

竹野活性化委員会 会長 中西和之さん

高齢化が進むなか、この取り組みは地域にとって必要なことです。

みんなが声をかけあえる地域、支え合える地域をつくるため試行を重ねてきました。

みんなの思いをはかり、周囲を見てこれから作り上げていきます。利用者の声を聴き、ニーズを把握してより良いものにしていきます。

ボランティアドライバーの声

これからの福祉は地域で支え合っていく時代。少しでも役に立てたらと思いドライバーをしています。運転していると利用者の方と話しができて楽しいです。この取り組みが定着し、長く続けていけたらと思います。

利用者の声

- ・買い物や通院に利用して助かっています。
- ・足が悪いのでバスに乗れなくて困っていたので、家まで迎えに来てくれるのがうれしい。
- ・みんな(地域)で支え合うことがうれしい。

一般社団法人日本カーシェアリング協会 代表理事 吉澤武彦さん

5年、10年後のために、今できることをできる範囲で、一人ひとりが楽しむことが大切。楽しいから続けられる。楽しみながら長く続けてもらいたい。

会話を通して自然と地域コミュニティを育むのがポイントです。カーシェアリングが、地域で安心して住みよいまちになるきっかけになればうれしいです。

京丹波でこの取り組みが波及していくことに期待しています。



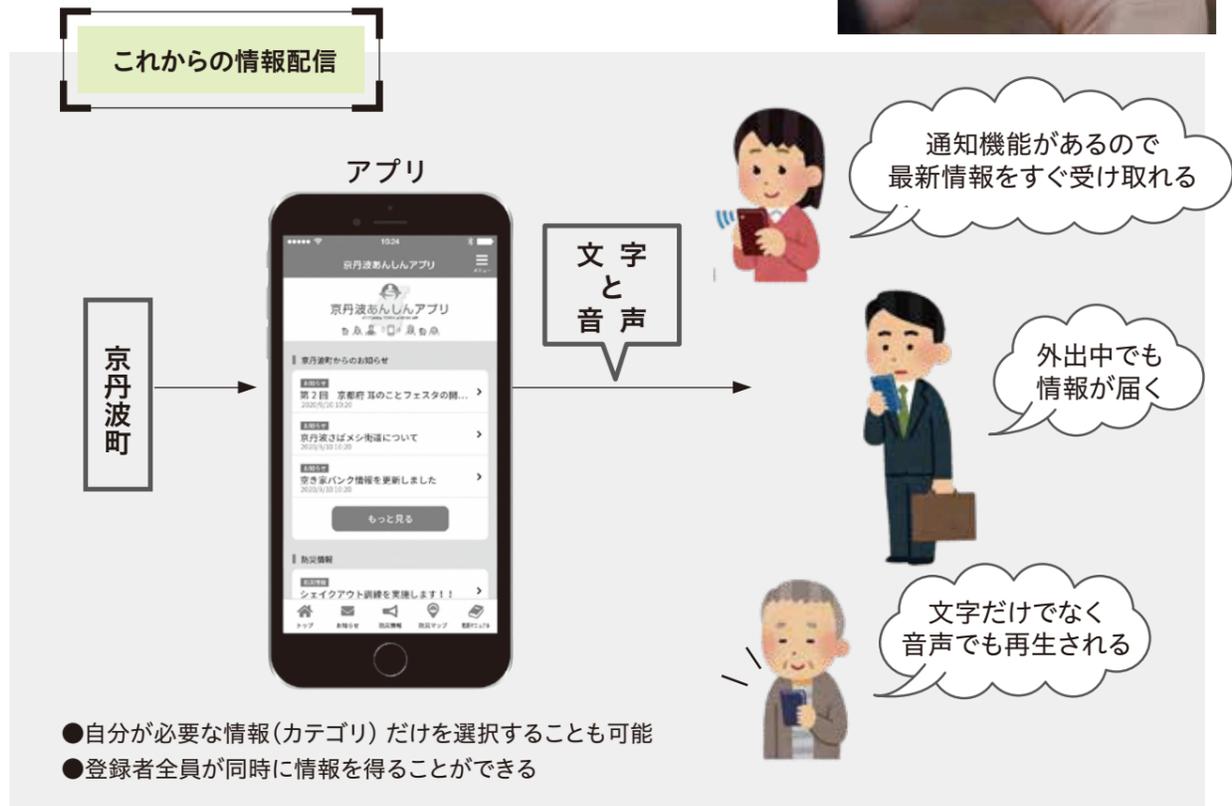
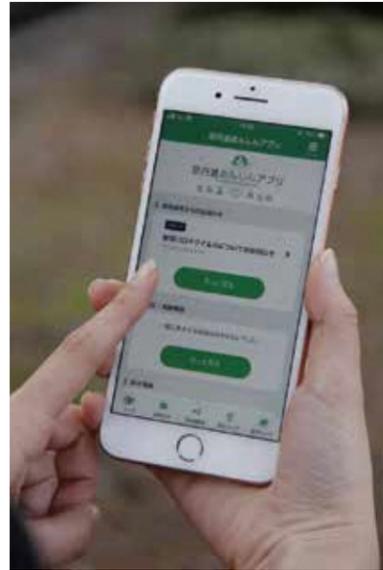


まちの新たな情報配信サービスが始まっています

京丹波町ケーブルテレビ事業の民営化に伴い、告知端末機での告知放送が終了することから、それに代わる新たな情報配信の手段として、スマートフォンやタブレットなどを通じて情報をお届けするアプリケーション「京丹波あんしんアプリ」を導入しています。

京丹波あんしんアプリとは

京丹波あんしんアプリでは、自分が受信したい情報を選択し、お手持ちのスマートフォンなどに登録したアプリケーションのほか、LINE、メールなどで受信することが可能です。



- 自分が必要な情報(カテゴリ)だけを選択することも可能
- 登録者全員が同時に情報を得ることができる

今すぐ登録を!!

現在の告知端末機での告知放送は令和3年7月末で終了いたしますので、告知放送終了までにアプリケーションなどの登録をお願いします。

▼Androidの場合



▼iOSの場合



QRコードを読み込みストアからインストールしてください。

令和3年度町政懇談会『タウンミーティング』アンケート

平素から町政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

本年も、皆さまの意見等をアンケートで募集いたします。提出にあたっては、背表紙を切り離し加工すると封筒が作成できますので、お手数をおかけいたしますがこれに封入し、ご送付願います。なお、切手は必要ありませんので、そのままご投函願います。

また、いただいた意見等の中から、町長がケーブルテレビを通じてお答えするほか、ホームページでも回答と公表をいたします。

あなた自身についてうかがいます			
住所	1.丹波 2.瑞穂 3.和知 地区	性別	1.男性 2.女性
年齢	1.20歳未満 2.20~29歳 3.30~39歳 4.40~49歳 5.50~59歳 6.60~69歳 7.70歳以上		
町政懇談会『タウンミーティング』についてうかがいます			
① 今までに町政懇談会に参加されたことがありますか。		1.ある	2.ない
② ①で「ある」と答えた方について、参加いただいた動機を教えてください。		1.町長や職員と対話したい 2.町政について知りたい 3.参加している町民の意見が聞きたい (地域の状況が知りたい) 4.区の役員として参加 5.その他()	
③ 今回の特集で特に興味を持った内容の番号に○をつけてください。(複数回答可)		1.新庁舎 いよいよ完成(9P~12P) 2.未来につなぐ 新たな時代(13P) 3.みんなで支える地域づくり(14P)	
④ 今後、タウンミーティングで取り上げてほしい(話し合いたい)題目。(3つまで選択可)		1.地域づくり 2.道路・交通対策 3.雇用の場づくり 4.買物支援等 5.子育て支援 6.教育・文化・スポーツ 7.移住・定住への支援 8.農林業、地域資源の活用 9.保健、医療、高齢者、障害者福祉 10.消防防災 11.その他()	

切り取り線 ✂

裏面へ

町政への意見提言・要望等について

切り取り線 ✂

◎タウンミーティングの番組放送は7月31日(土)から8月13日(金)まで放送します。
アンケートは、番組をご覧になってから記入いただくよう、お願いいたします。
なお、タウンミーティングの番組は、放送開始日から町ホームページからもご覧いただけます。

URL

<http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/0000006809.html>



◎この令和3年度町政懇談会『タウンミーティング』アンケートは、町ホームページでも回答いただけます。

URL

<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/jform/townmeeting.html>



◎本アンケートへの質問または不明な点については、下記までお問い合わせください。

京丹波町企画財政課

住 所 〒622-0292

京都府船井郡京丹波町蒲生ハツ谷62番地6

電 話 0771-82-0200(代表) 0771-82-3801(直通)

FAX 0771-82-2500

記入等にあたってのお願い等

- 世帯ごとに回答を求めるものではなく、複数人回答をいただける場合はアンケート用紙を複写し、記載願います。
- ご記入が済みましたら、お手数ですがこのページを切り取り線✂にそって切りはなしてください。また、最終ページが返信用封筒となりますので、切り取り線✂にそって切りはなし、返信用封筒を作成いただき、期限までにご投函ください。(切手は不要です)

投函期限: 8月20日(金)まで

お手数ですが、このページ裏面の切り取り線✂に
そって切りはなし、封筒を作成してお使いください。
(切手は不要です)